

入間野小学校だより 1月号 令和5年1月10日(火)

狭山市北入曽980 TEL 04-2958-2718



～みんなが大切にされる学校～

校長 丸山 丁士

「いるまの」 「仲よくする子 考える子 やりぬく子」の育成

～ 冬来たりなば春遠からじ ～

If winter comes, can spring be far behind?

“癸卯(みずのと・う)”新しい一年が始まりました。本年もどうぞ
よろしく願いいたします。

「癸」には「春が間近でつぼみが花開く直前」、‘うさぎ’の「卯」には
「冬の門が開き飛び出る」という意味があるそうで、今年は「これまでの
努力が花開き、実り始める」縁起のよい年とされています。



お年玉(にんじん)を頬張る Moko ちゃん

「努力が花開き…」といえば、2学期の終業式
で全校児童に「命の大切さ」とともに「努力」に
ついて、FIFA ワールドカップカタール大会の最
優秀選手に選ばれたリオネル・メッシを例に挙
げて話をしました。そして、今日の3学期始業
式では、“人類史上最速のスプリンター”と称さ
るウサイン・ボルトの「努力」について話題にし
ました。いずれも、紙面の関係もあり、詳細はお
子様にお聞きいただければ幸甚ですが、ここ
ではもう一人…津田雄一さんの「努力」について紹
介させていただきたいと思います。

津田さんは、宇宙航空研究開発機構(JAXA)
の教授や小惑星探査機はやぶさ2^{*}のプロジェ
クトマネージャーとして知られていますが、メ
ッシやボルトと同じように、若い頃に病気(津田
さんの場合は、高校生の時に一時失明)を患いな
がらも、数多の困難を乗り越えて夢を実現させ
た人です。

^{*}はやぶさ2…地球から3億kmも離れた小
惑星リュウグウ上に誤差わずか60cmの
精度で着陸。また、その気体を地球に持
ち帰るなど工学的成果として8つの「世
界初」を達成。2020年12月に再突入カプ
セルを地球に送り届け、2023年1月
9日現在も地球からおよそ2億3千8百
万km離れた宇宙を航行中。



実は、津田さんの講演会が昨年10月にあり、
直接お話を伺うことができたのですが、彼はそ
の時こう語っていました。

『「努力が報われて夢が叶ってよかったです
ね」とよく言われるのですが、私としてはちょっ
とちがう感覚なんです…

小さな興味を育てていったら、夢のようなこ
とができた…とでも言いましょうか』

あのイチローも、あるCMで「努力を努力と
思っているうちは、その努力は報われないかも」
というようなことを言っていました。

世界中に「努力なくして成功なし」的な言葉が
存在しますが(No sweet without sweat や No
pain, no gain など)、「好奇心を持つこと」や「好
きになること」が、努力を努力と感じることなく
夢を実現できる秘訣と言えそうです。

昨年末の大晦日。本校のカワイイ可愛い小動
物たちに食事を…と思い、学校に寄ろうとした
時のこと。見覚えのある野球少年2人が、学校周
辺のかなりの距離を保護者の方と一生懸命に走
る姿を見かけました。そして、年明け2日にも!

人知れず努力を重ねている彼らの姿に津田さ
んの言葉を思い出し、何だか私まで夢と希望に
胸躍る年末年始となりました。

そして、まる3年が経とうとしているコロナ
禍。正しく恐れるウイズコロナ策に努めながら、
入間野小のみんなで力を合わせていけば、流行
終焉の日遠からじ…と信じて、今年も感染拡大
防止に万全を期してまいります。